

け が 編

1 誤飲・窒息

お子さんが急にせき込んで苦しそうな表情の時は、異物の誤飲・窒息が疑われます。



次の場合は、救急車(119)を呼びましょう

- のどに物が詰まった
- けいれんを起こしている
- 意識がない
- 顔色が悪く、呼吸の仕方がおかしい
- 吐くことが止まらない



救急医療機関に受診が必要な症状

次の場合は、医療機関を受診しましょう。

- 医薬品、殺虫剤、洗剤、電池などを飲んだ
- 灯油、マニキュア除光液など揮発性の液体を飲んだと思われる

タバコを飲みこんだ場合

★2cm以上食べた場合は、できるだけ早く受診してください

→特にタバコの灰皿の水や、タバコを捨てたジュース缶などの残りを飲んだ場合は、できるだけ早く医療機関を受診してください。

(水に溶けたニコチンは吸収が早く大変危険です)



★灰皿に水を入れないようにしましょう

★ジュースの缶などを灰皿の代りにしないようにしましょう



誤飲・窒息の場合の対応

★落ち着いて、何を飲み込んだのか周囲にあるものから推測してください

★つまっている物が見えたら、取り除いてください

※無理に指を入れないでください

異物を押し込み、危険です

★吐かせるために（意識がある場合）

①乳児では、頭を下にし、背中を叩く（図1：背部叩打法）

②少し大きい子は、ひざを立ててお子さんのお腹を乗せ、頭を下にし、背中を叩く（図2：背部叩打法変法）

③後ろからお子さんのお腹の前で腕を組み、お子さんのお腹を上後ろ方向に強く引き上げる（図3：ハイムリッチ法）



図1 背部叩打法（乳児）



図2 背部叩打法変法
（少し大きい子）



図3 ハイムリッチ法（年長児）

※ハイムリッチ法を行った場合は、つまった物がとれて呼吸ができるようになっても必ず医療機関を受診してください（腹部臓器損傷の場合があります）

どうしても異物がとれず、呼吸困難が強くなってきた時は、心肺蘇生法を行いながら至急救急車（119）を呼びましょう

詰まった直後は何の症状がなくても、時間とともに誤って飲みこんだ物が水を吸ってふくらみ、窒息する場合がありますので、お子さんの状態をよくみてください。



《飲みこんだ危険物による対応》

すぐに吐かせる	吐かせずに受診		しばらく様子を見る
ワックス 台所用洗剤 アルコール 整髪料 化粧品 医薬品 タバコ 石けん	灯油 シンナー マニキュア除光液 トイレ用洗剤 カビ取り剤 漂白剤 油性塗料 画びょう・針	安全ピン ガラス片 殺虫剤 除草剤 生石灰 ナフタリン しょうのう	マッチ 芳香剤 乾燥剤 クレヨン 口紅 粘土 マーカーペン 蚊取り線香

日常生活で注意すること

- ★ボールペンや鉛筆、はしなどは、遊ぶ時は、持たせないようにしましょう
- ★歯ブラシは口に入れたまま歩き回らないようにしましょう
- ★3歳位までは、豆類などの噛み砕く食品は食べさせないでください(臼歯(きゅうし)が生えるまで)
- ★トイレットペーパーの芯に入る大きさ(直径39mm)の物は、お子さんが誤って飲みこんでしまう可能性があり、危険です
お子さんの手の届くところに、置かないようにしましょう



中毒110番

- ★化学物質(タバコ、家庭用品など)、医薬品、動植物による毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定して情報提供している所です
誤飲が実際に起こってしまった時に電話してください

- 大阪中毒110番(24時間・365日対応)

072-727-2499

- つくば中毒110番(9:00~21:00・365日対応)

029-852-9999

- タバコ専用電話(24時間・365日対応・テープ対応)無料

072-726-9922

- 中毒110番ホームページ(<http://www.j-poison-ic.or.jp>)
誤飲物の毒性や家庭での処置について、検索できます

2 やけどをしたとき



次の場合は、救急車(119)を呼びましょう
皮膚科・形成外科を受診してください。

- やけどの範囲が大人の手のひらより大きいとき
- 皮が黒く焦げていたり、白くなっている
- 顔面や、手のやけど



やけどをした場合の対応

- ★ やけどをしたら、ただちに流水で、30分以上服の上から冷やしてください
→ 服を脱がせないようにしましょう。
- ★ 水ぶくれはつぶさないように、水の勢いを弱めて冷やします
- ★ つぶれると、そこから雑菌が入って化膿する恐れがあります



3 頭を打ったとき



次の場合は、救急車(119)を呼びましょう

- 意識がない(すぐに泣かないなど)
- けいれんが起きた
- うとうとしたり、意識がおかしい



救急医療機関に受診が必要な症状
次の場合は、脳外科を受診してください。

- 吐き気がある
- 痛みが強い



頭を打った場合の対応

- ★ 頭部を打った後、すぐに泣いて意識がしっかりしており、食欲がある場合は様子を見てください
 - 患部を冷やしてください。
 - 当日は、安静にして入浴も控えてください。

2～3日は注意深く観察し、吐き気があったり、いつもと様子が違う場合は、脳外科医がいる医療機関を受診してください。

4 手足などの打撲



救急医療機関に受診が必要な症状

次の場合は、患部を固定して
整形外科・外科を受診してください。

- 激しく痛がる場合や患部が変形している
- 痛めた部分に大きな傷がある
- 患部を動かせない

打ち身(皮下出血)があるが、患部を動かせる場合は、冷やして様子を見てください

